

事 業 報 告
決 算 報 告 書

(第41期)

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月 31日

株式会社札幌花き地方卸売市場

札幌市白石区流通センター7丁目3番5号

第41期事業報告

〔 自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日 〕

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

改元が行われた令和元年度の我が国経済は、台風19号など相次いだ自然災害や消費税の引き上げなどによる景気への影響も懸念されましたが、雇用・所得環境の改善が続くなどにより、緩やかな回復が続いてきたところです。

しかしながら、年明け以降の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、各国の経済、社会活動に深刻な影響を及ぼし、我が国においても幅広い業種で業況が後退するなど大変厳しい状況になっています。

花き業界におきましても、感染拡大を防ぐための各種式典やイベントの中止などにより、花きの需要が減少し、花き生産者や流通事業者にも大きな影響を及ぼしているところです。

こうした状況のもと、令和元年度の当市場の取扱高（卸売事業者三社の合計）は、数量で前年度比7.5%の減、金額では4.8%減の74億806万円（前年度77億7,800万円）となりました。

当期事業につきましては、開設者としての市場の運営・管理及び卸売事業者三社から受託している卸売代金の精算業務などの定例的な業務のほか、市民の皆様に市場のPRやお花に親んでもらうことを目的として「花き市場まつり」を開催するとともに、「次世代国産花き確立推進事業」の一環として、道産花きの魅力をPRするためのイベント「北海道のお花大集合 in 花き市場」を同時開催いたしました。また、北海道花き振興委員会による「北海道花き品評会（切花・鉢花）」の開催、「北海道フラワーウオーク」や「SAPPORO フラワーカーペット」への参画など、花き関係事業者と連携して、花きの振興、需要拡大に向けた取組みを行いました。

また、新型コロナウイルスの感染防止に向けた取組みとして、緊急時の連絡や情報の共有化を図るため、市場内関係事業者で構成する「感染症対策会議」を設置したほか、市場内でのマスク着用、手指等のアルコール消毒、手洗いの励行について徹底を図るとともに、せり場ひな壇の手摺の日々の消毒、市場内イベントの延期または中止、喫煙所使用の停止等を行いました。

当期損益につきましては、売上高は1億2,073万円でありましたが、市場取扱高の減少に伴う施設賃貸収入及び精算業務収入の減収により、前期比で229万円の減収となったこと、また、費用面で、市場の再整備検討基礎調査や施設老朽化調査等の支出により一般管理費が増加したことにより、253万円の営業損失（前期営業利益809万円）を計上することとなりました。経常損益につきましても74万円の損失を計上することになり、法人税等を差し引いた当期純損失は116万円（前期純利益629万円）となりました。

(2) 対処すべき課題

① 当市場は、道内卸売市場における花き取扱額の6割を超えるシェアを有するなど、産地と実需者の要として重要な役割を担っているところです。卸売市場制度の抜本の見直しが行われ、卸売市場法が改正されましたが、当市場が果たす役割は、これからも益々高まるものと考えております。

一方、当市場は、昭和56年4月に開場して以降39年が経過し、施設の老朽化が顕著となっており、その対応が喫緊の課題となっております。

こうしたことから、当市場のあり方や機能強化、市場施設の再整備の考え方などについて、関係事業者の皆様と検討を進めるとともに、令和元年度に行った老朽化調査をもとに、緊急性の高いものについて老朽化対応を行ってまいりたいと考えております。

② 国内における新型コロナウイルスの感染拡大の勢いは鈍ってきてはいますが、その終息はいまだ見通せない状況にあります。当市場が感染媒体の場所となることを防ぎ、取引参加者が安全で安心して当市場を利用することができるよう、感染防止対策に万全を期してまいります。また、感染拡大によって減少した花きの需要回復に向け、行政及び関係事業者の皆様と連携して取り組みを行ってまいります。

(3) 資金調達についての状況

- ① 資金調達 当期中において、新たな借入金、株式の発行、補助金の交付などはありません。
- ② 設備投資 当期中に行った設備投資はありません。

(4) 直前三事業年度の財産および損益の状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
売 上 高	128,376 千円	125,292 千円	123,018 千円	120,729 千円
当期純利益	7,192 千円	5,283 千円	6,293 千円	△1,159 千円
1株当り当期純利益	17 円 71 銭	13 円 01 銭	15 円 50 銭	△2 円 80 銭
総 資 産	712,373 千円	665,641 千円	699,569 千円	692,659 千円

(5) 使用人の状況（令和2年3月31日現在）

従業員数 社員3名、臨時社員1名、非常勤社員3名

2 株式に関する事項

- (1) 発行する株式の総数 500,000株
- (2) 発行済み株式の総数 406,000株
- (3) 当期末株主数 5名

(4) 株 主

株 主 名	持 株 数	株式割合
札 幌 市	204,000 株	50.25 %
札幌花き園芸(株)	164,600 株	40.54 %
北海道植物(株)	19,000 株	4.68 %
(株)北海道銀行	16,000 株	3.94 %
はまなす花き(株)	2,400 株	0.59 %
計	406,000 株	100.00 %

3 会社役員に関する状況 (令和2年3月31日現在)

役 職	氏 名
代表取締役社長	石川 敏也
専務取締役	大原 治
取 締 役	高橋 淳
取 締 役	田嶋 久嗣
取 締 役	木村 雅樹
取 締 役	山田 紀雄
取 締 役	木村 明夫
監 査 役	木村 伸人
監 査 役	熊谷 清勝

以上、令和元年度の会社の事業活動の概要をご報告いたしましたが、今後とも、全力をあげて市場運営に取り組んでまいり所存でございますので、関係各位の特段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申しあげまして事業報告といたします。

令和2年6月27日

株式会社札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 石川 敏也

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 237,128,155 】	【流動負債】	【 53,584,372 】
現金	80,000	未払金	7,765,180
預金	224,826,350	未払法人税等	1,371,600
仮払金	1,471,500	未払消費税	1,805,700
前払費用	910,045	預り金	150,740
未収入金	9,561,311	前受金	20,000
立替金	288,510	精算代金預り金	41,218,496
貸倒引当金	△ 9,561	賞与引当金	1,252,656
【固定資産】	【 455,530,805 】	【固定負債】	【 42,084,482 】
(有形固定資産)	(387,524,894)	長期借入金	0
建物	121,363,203	預り保証金	39,240,000
構築物	632,044	退職給付引当金	2,844,482
工具器具備品	2,063,647		
土地	263,466,000	負債合計	95,668,854
(無形固定資産)	(248,311)	純資産の部	
電話加入権	248,311	科目	金額
(投資その他の資産)	(67,757,600)	【株主資本】	【 596,990,106 】
投資有価証券	18,000,000	資本金	470,000,000
保険積立金	17,600	(利益剰余金)	(126,990,106)
取引保証積立金	34,740,000	その他利益剰余金	126,990,106
修繕積立金	15,000,000	別途積立金	40,000,000
		繰越利益剰余金	86,990,106
		純資産合計	596,990,106
資産合計	692,658,960	負債・純資産合計	692,658,960

損 益 計 算 書

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
施設賃貸収入	97,965,993	
売上高割使用料	40,744,289	
面積割使用料	39,107,088	
関連店舗使用料	18,114,616	
精算業務収入	20,203,307	
駐車管理収入	2,560,000	120,729,300
売上総利益金額		120,729,300
【販売費および一般管理費】		123,260,077
営業損失金額		△ 2,530,777
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	33,714	
雑 収 入	1,754,781	1,788,495
経常損失金額		△ 742,282
【 特 別 利 益 】		
貸倒引当金戻入益	1,285	1,285
【 特 別 損 失 】		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純利益		△ 740,997
法人税、住民税及び事業税		417,681
当 期 純 損 失		△ 1,158,678

株主資本等変動計算書

自平成31年4月1日

至令和2年3月31日

(単位：円)

株主資本		
資本金		
	当期首残高及び当期末残高	470,000,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	40,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	88,148,784
	当期変動額 当期純損失	△ 1,158,678
	当期末残高	86,990,106
利益剰余金合計	当期首残高	128,148,784
	当期変動額	△ 1,158,678
	当期末残高	126,990,106
株主資本合計		
	当期首残高	598,148,784
	当期変動額	△ 1,158,678
	当期末残高	596,990,106

純資産合計		
	当期首残高	598,148,784
	当期変動額	△ 1,158,678
	当期末残高	596,990,106

上記のとおりご報告申し上げます。

株式会社 札幌花き地方卸売市場

代表取締役社長 石川 敏也

個別注記表自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

(単位：円)

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の棚卸方法及び評価基準

棚卸方法----- 実地棚卸
評価基準----- 最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法によっています。但し、平成10年4月1日以降取得の建物（附属設備を除く。）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

無形固定資産 定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法の規定にもとづく法定繰入率による繰入限度額を計上しております。

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、自己都合による退職金の期末要支給額の100%相当額を引当計上しております。

計算書類作成のための重要な事項

①リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

②消費税等の会計処理

消費税の納付税額の計算方法は、原則課税制度によっています。また、その経理処理は税込方式によっています。

株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度中の剰余金の配当に関する事項

当期中における配当金の支払いはありません。

当該事業年度後の剰余金の配当に関する事項

配当金の支払いの予定はありません。

発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式）	406,000株
当期増加株式数（発行済普通株式）	
当期減少株式数（発行済普通株式）	
当期末株式数（発行済普通株式）	406,000株

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たり純資産額	1,470円41銭
一株当たり当期純損失	△2円80銭

その他の注記

その他

有形固定資産の減価償却累計額	730,761千円
----------------	-----------